

リーディングDXスクール事業【実践事例】

多度津町立多度津小学校（香川県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力チェックリストを使った系統性のあるICTスキルの育成



【実践例①】 全校集会での情報モラル教育
 全校集会で写真や動画の扱いについて話し合った。写真を撮ってはいけない場合について、イラストを元に全校生で考えた。児童は相手の許可なく写真を撮ってはいけないことなどを再確認した。高学年からはSNSにそれらをアップロードすることの危険性についての発言もあり、全校生で考え直す機会になった。

【実践例②】 アンケートとチェックリスト
 香川県教育センターが出している情報活用能力チェックリストを元に全教職員で話し合い、本校独自のチェックリストを作成し、2学年間で達成できるようにした。また、職員と児童それぞれにICTの活用についてのアンケートを行い、結果をもとに授業について見直すことで改善を図った。

領域	1・2年
基礎スキル	写真や動画の撮影、音声の記録ができる。 ・新しいノートを作ったり、提出したりすることができる。 ・コードの読み取りができる。
	再起動、音量調節ができる。 コントロールセンターを開くことができる。
	教師が指定したサイト内を閲覧することができる。 ・のアンケートに答えることができる。
	いろいろな写真やシートをごみ箱に捨てることができる。
探究スキルのペイントを使って、自分が撮った写真付けたり、簡単な言葉を書き込んだりすることができる。 自分が撮った写真を種類ごとに分けることができる。 自分が撮った写真を使って、分かりやすく発表することができる。 自分の考えを発表するときに、注目してほしいところを強調することができる。